

五里地区小中一貫教育学校

【第5号】

建設準備委員会だより



このたよりは、五里地区の小中一貫校の開校に向けた準備の情報をお届けするものです。今号では、第5回建設準備委員会の様子をお送りします。

第5回建設準備委員会を開催

6月23日(木)に第5回建設準備委員会を開催しました。今年度から新たに委員となった方へ委嘱状の交付を行い、本年度のスケジュールを確認しました。

【協議内容】

- ・本年度のスケジュール(案)について
- ・アンケート集計結果について
- ・その他



本年度スケジュール

本年度の建設準備委員会は、「基本構想※」の策定を行っていきます。委員のどのような学校を造りたいかといった意見を土地の利用計画や校舎の配置などに反映させていきます。また、「基本構想」には、教育内容などの専門的な部分があるため、昨年度玉里地区の教職員で立ち上がった「玉里地区小中連携・小中連携推進委員会」においても並行して協議していきます。その協議内容について建設準備委員会で共有し、より良い学校づくりを行っていきます。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備委員会開催	○	○		○	○			○	○	
小中一貫校整備	基本構想の策定									

※基本構想

玉里地区の小中一貫校のコンセプト(教育面・施設面)などをまとめ、それを校舎の形や配置などに反映させたもの

アンケート集計結果について

昨年度開催の第2回、第3回建設準備委員会(水戸市総合教育研究所の小野先生による講話、水戸市立国田小中学校の視察)を通して、小中一貫校の教育面や施設面等について感じた点に関するアンケートを実施しました。今回の委員会では、そのアンケート集計結果が事務局より提示されました。

○主な意見

- ・専門的な知識や技能あるいは指導力を持った先生方が小学生を教えられるのは良いと思う。小学校では一日の大半を担当の先生と過ごす。全人格的な触れ合いや関わりが良い点であり、是とすべきことだと思う。教科の特性を指導し、教えられ、知識を身につけ、人格的にも成長する(互いに)。理想はそういったところだろうが、なかなか困難も多い。
- ・小中一貫校化のメリットの一つが、中学教員の小学生への乗り入れ授業であり、成績においてかなり効果があると小野先生がおっしゃっていた。積極的に取り入れていただきたい。授業面等について、専門的なことは分からないので、教職員の方で十分検討をしていただきたい。
- ・教育のコンセプトをしっかりと決め、それを実現するにはどのような施設が望ましいか決めること。どういう教育をするのか、子ども達は何を期待するのか、先生の気持ち、子どもの気持ち、そして一般者の気持ちをまとめる。コンセプトが決まれば、その実現のために校舎、施設、レイアウトが自ずと決まってくると思う。

その他（第6回建設準備委員会について）

今回の建設準備委員会は、千葉県成田市にある下総みどり学園への視察を予定しています。視察先の概要は以下のとおりです。

○下総みどり学園（平成26年4月 開校）

4-3-2制を採用し、義務教育9年間を見通し、途切れることのない一貫した指導方針のもと、一人一人の子どもが着実に学力を身につけ、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長しているよう連続した学びを実施している。

児童生徒数：小学校 265人
 中学校 134人
 普通学級数：小学校 12学級
 中学校 6学級

主な質疑や意見



委員 基本構想の具体的な内容はこういったものなのか。

事務局 建物を造る際には、基本設計と実施設計という設計図書が必要になってくる。その基本設計を作る前に、この学校をこのように作りたいという委員の思い、魂の部分を作ることが構想といわれるものである。こういった学校を作りたい、こういった教育を子ども達に受けさせたい、そのような部分を、この委員会で地域に合った学校のスタイルを検討していくと考えていただくと分かりやすいかと思う。そして、出てきた意見を施設に反映すれば、その思いに適した建物が建てられるということに繋がっていくことになる。

委員 学校づくりについて、各地域で建設準備委員会をつくと、教育内容について平均した教育ができないという気がする。例えば、小美玉市に住んでいた人が転校した場合、小美玉で受けた教育内容と転校先の学校で受ける教育が違ってくる状況もあると思う。

委員長 文科省が小中一貫校の推進において注意してほしいとしていることが、委員の意見にあった内容。教科書の進度によって、転入、転出する児童生徒にやり残しが発生しないようにという注意事項がある。その点は十分に考慮していかなくてはならないと思う。



副委員長 3小学校と1中学校が1校になる上で、昨年度より「玉里地区小小連携・小中連携推進委員会」において、各校の取り組みについて共通理解を図ってきた。今後は、取り組みの具体的なすり合わせを行っていきたい。

委員 すり合わせは大変だと思う。色々な条件が違った中で行ってきた教育をすり合わせるので、合わないことが色々出てくると思う。そのすり合わせの中で保護者が負担になるようなことだけは絶対に避けなくてはならないと思う。十二分に気を付けて行ってほしい。



新たに委嘱された委員

(敬称略、順不同)

区分	氏名	所属・役職等
保護者代表	田山 憲一	玉里北小PTA役員
	久保田 浩一	玉里東小PTA役員
	陽 美 美由紀	〃
	小松崎 由美子	玉里中PTA会長
	遠藤 康子	玉里中PTA役員
	宮本 真由美	〃
地域住民代表	菊地 和夫	玉里東小地区代表区長
	藤田 泰正	玉里東小地区区長

区分	氏名	所属・役職等
学校職員	額賀 博	玉里小校長
	長谷川 美智子	玉里小教頭
	塚本 繁雄	玉里北小教務主任
	圓尾 康子	玉里東小校長
その他	荒井 敦	玉里幼稚園PTA役員
	小暮 真一	〃

※議事録は、市のホームページ（以下のURL）で公開しています。
<http://city.omitama.lg.jp/8106.html>



今回の建設準備委員会は、千葉県成田市立下総みどり学園の視察を予定しています。視察の様子は、次号の準備委員会だよりでお知らせします。

発行：玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会

(事務局) 小美玉市教育委員会
 施設整備課 学校づくり推進係
 〒311-3492 小美玉市小川4-11
 電話 0299-48-1111 (内線2212・2216・2217)
 Eメール shisetsu@city.omitama.lg.jp